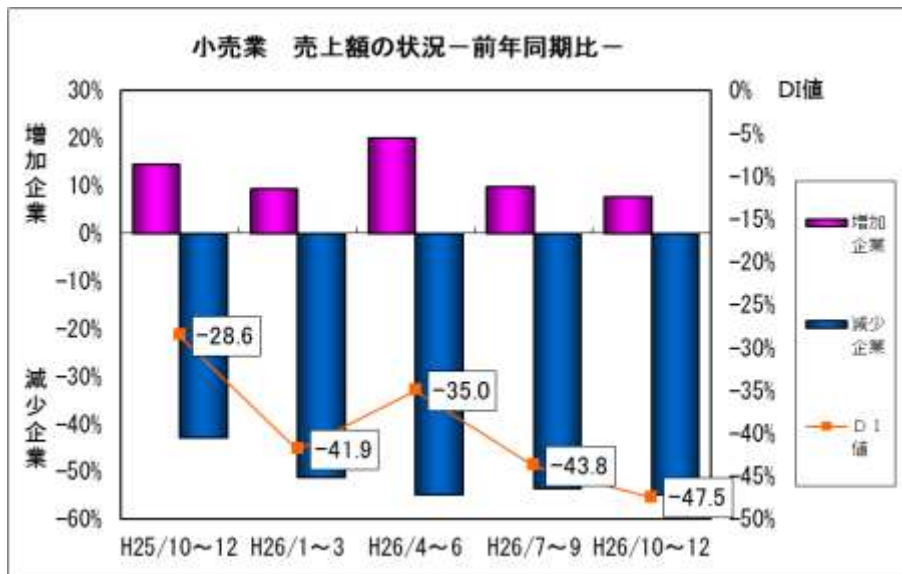


(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 47.5。前期のマイナス 43.8 から 3.7 ポイント下落した。来期見通しは、マイナス-40.0 と上昇の見通し。



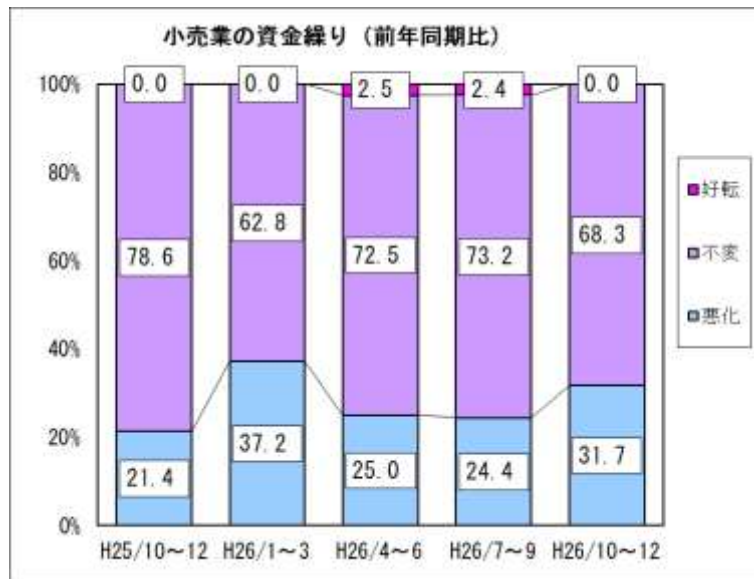
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 41.5。前期のマイナス 48.9 から 7.4 ポイント改善した。来期見通しは、マイナス 37.5 と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 31.7。前期のマイナス 22.0 から 9.7 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 30.8 と改善の見込み。

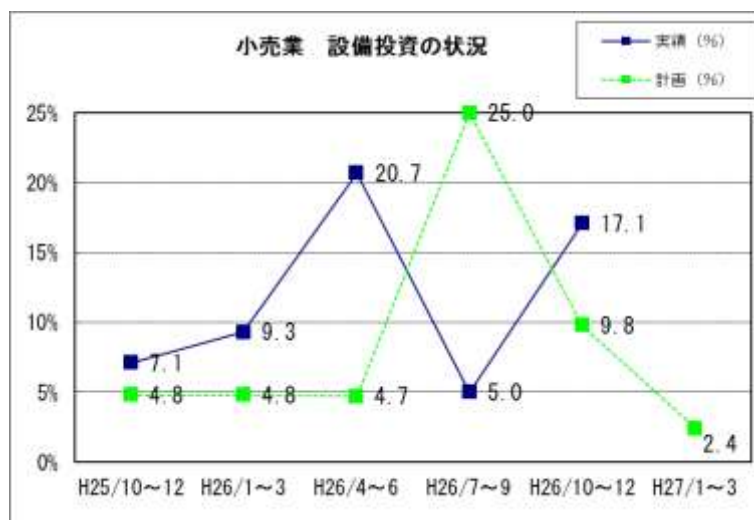


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	2	0	1	1	0	0	0	0	0	38
前期実施（%）	5.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.0
今期実施（実数）	7	0	3	0	0	0	2	0	2	34
今期実施（%）	17.1	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	82.9
来期計画（実数）	1	0	0	0	1	0	0	0	0	40
来期計画（%）	2.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.6

今期設備投資を実施した企業は 7 社（17.1%）。前期（平成 26 年 7～9 月期）の実施企業 6 社（20.7%）から増加。来期は 1 社（2.4%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 46.2%→今期 40.0%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 41.0%→今期 32.5%)
- ・ 「大型店・中型店の進出による競争の激化」 (前期 38.5%→今期 32.5%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 25.6%→今期 32.5%)

となっている。

